

2026年度

法政大学大学院 デザイン工学研究科 募集要項

建築学専攻

修士課程（博士前期課程）総合2年コース

博士後期課程

都市環境デザイン工学専攻

修士課程（博士前期課程）総合2年コース

博士後期課程

システムデザイン専攻

修士課程（博士前期課程）総合2年コース

博士後期課程

法政大学大学院デザイン工学研究科

＜アドミッション・ポリシー＞

求める学生像

デザイン工学研究科は、デザイン工学に関わる専門職業人と高度な研究能力を有する研究者の養成を目指している。これを達成するためには、入学前に獲得しておくべき基礎学力が問われる。また仕事が多様化・国際化している現代にあつては、専門分野に特化した人材以外に、多様な経験を有する幅広い人材が必要とされている。また、急速に進む技術革新に適応するため社会人に対するリカレント教育も必要である。

◎建築学専攻

修士課程においては、(1)建築デザイン、(2)建築・都市史、(3)建築構造、(4)建築環境、(5)建築構法の5分野の基礎的知識を有した受験生を入学させる。ただし、キャリア3年コースについては、広く豊かな視野をもった受験生を入学させ、入学後の最初の1年で5分野の基礎的知識を学ばせる。博士課程においては、高度な研究能力を身につけた受験生を入学させる。

◎都市環境デザイン工学専攻

修士課程においては、社会基盤システムの整備に係る分野の基礎的知識を有した受験生を入学させる。ただし、キャリア3年コースについては、広く豊かな視野をもった受験生を入学させ、入学後の最初の1年で社会基盤システムの整備に係る分野の基礎的知識を学ばせる。博士課程においては、高度な研究能力を身につけた受験生を入学させる。

◎システムデザイン専攻

修士課程においては、もの・システムづくりの創生プロセスにおける分野の基礎的知識を有した受験生を入学させる。博士課程においては、高度な研究能力を身につけた受験生を入学させる。

入学制度

以下の入学制度を設け、多様な人材を受け入れる。

＜修士課程＞

一般入学制度、学内推薦入学制度、学内特別推薦入学制度、社会人特別入学制度、外国人学生特別入学制度

＜博士後期課程＞

一般入学制度、学内推薦入学制度、社会人特別入学制度、外国人学生特別入学制度

上記デザイン工学研究科の入学制度に加え、次の制度を設ける。

◎建築学専攻

＜修士課程＞

一般推薦入学制度、選抜1年コース制度、キャリア3年コース制度

＜博士後期課程＞

一般推薦入学制度

◎都市環境デザイン工学専攻

＜修士課程＞

一般推薦入学制度、キャリア3年コース制度

＜博士後期課程＞

一般推薦入学制度

◎システムデザイン専攻

＜修士課程＞

自己推薦入学制度

＜博士後期課程＞

自己推薦入学制度

目 次

研究科について	1
◆建築学専攻	1
◆都市環境デザイン工学専攻	3
◆システムデザイン専攻	5
入試について	7
◆入学制度	7
◆入学定員	8
◆受験資格	9
修士課程	9
博士後期課程	10
◆入学試験会場	11
◆試験日程	12
◆試験について	13
◆出願方法	15
大学院入学検定料支払方法	16
◆提出書類	17
◆合否判定	17
◆合格発表	17
◆入学手続	17
◆学費	18
◆その他	19

研究科について

◆建築学専攻

私たちを取り巻く環境を究め、デザインする：家具、部屋、建物、都市空間まで

本専攻の目的は、建築に関する専門知識と先端技術を土台として、学際的視点に立った建築と都市に関する総合デザイン学を開拓、研究するとともに、これを身につけた建築と都市に関わる専門職業人（建築家、建築技術者など）の育成と、これに加え、さらに高度な企画開発能力を有する教育（指導）者、研究者を養成することです。本専攻の前身である建設工学専攻建築学領域は、比較的大きな規模を備え、長年にわたって多くの人材を社会に送り出してきました。これは、学部からの進学率が高い上に、他大学、他学部からの入学者も多いことによります。その傾向は、年々増加しています。不断の進化に挑戦する建築学専攻はあなたの建築に対する若い情熱を求めています。

【特色】

1. (1)建築デザイン、(2)建築・都市史、(3)建築構造、(4)建築環境、(5)建築構法の5分野を中心とする多様な教育と研究
2. 募集対象や修了年限が異なるコース別入学制度（選抜1年コース、総合2年コース、キャリア3年コース）による開かれた教育環境
3. 国際建築資格を視野に入れたスタジオにおける徹底したデザイン教育
4. 1級建築士の実務認定を在学中に得られる豊富なインターンシップカリキュラム
5. 海外の建築動向を肌で体験する国際研修プログラム

【目標】

1. 総合デザイン（Holistic Design）を理解し実践する能力
2. 歴史・文化と建築が不可分であることを理解する素養
3. 持続可能な地球と社会の実現を図るグローバルな職業倫理
4. 安心な生活・安全な構造・快適な環境を実現する専門技術力
5. 技術発展と芸術創造に関する相補的で均衡ある理解
6. 企画・設計作業に必要な高度なIT能力
7. アイデアを論理的に記述し、口頭で発表し討議する能力

注 意

本研究科建築学専攻ではデザイン工学部建築学科と合わせて、2013年度にJABEE認定を受けた。但し他大学から入学する場合には、その大学で建築士指定科目の履修を終えていない場合は本学JABEEプログラム修了要件を満たしてもJABEE修了生として認定されない。

留学生の方の建築士の受験資格については、建築技術教育普及センターにお問い合わせください。

【専任教員と専門分野】

出願の前に希望する研究指導教員と面談を行い、自身が関心のある研究テーマで指導を受けられるかどうか確認し、出願の承諾を得てください。

※教員は変更になる場合があることをご承知おきください。

教員名	専門分野	研究室名
赤松 佳珠子 教授	建築設計・都市デザイン	建築・空間デザイン研究室
網野 禎昭 教授	建築構法	建築構法研究室
安藤 直見 教授	建築計画・都市計画	建築空間研究室
岩佐 明彦 教授	建築計画	建築計画学研究室
加用 現空 教授	建築環境	エネルギー・環境数理学研究室
小堀 哲夫 教授	建築設計・都市デザイン	建築設計・都市空間研究室
山道 拓人 准教授	建築設計・建築計画・都市デザイン	建築意匠・ソーシャルテクニクスデザイン研究室
下吹越 武人 教授	建築設計・都市デザイン	建築・都市空間研究室
高村 雅彦 教授	建築・都市史	歴史・意匠研究室
中野 淳太 教授	建築環境・設備	建築環境インターフェイス研究室
南後 由和 教授	建築社会学・都市論・メディア論	建築社会学・学際研究室
浜田 英明 教授	建築構造	建築構造計画研究室
藤本 貴子 専任講師	建築アーカイブズ	建築アーカイブズ研究室
宮田 雄二郎 准教授	建築構造	建築構造工学研究室

※各教員の専門分野・研究業績等については以下を参照してください。

法政大学 教員紹介

<https://www.hosei.ac.jp/edn/kyoin/>



◆都市環境デザイン工学専攻

自然と共生する持続可能な日本の都市をデザインする

近年わが国では社会の基盤整備も進み、建設関連の分野においても、社会から要求される技術者としての資質に大きな変化が生じてきています。すなわち、地球規模の環境保全、自然や生態系などの環境と共生できる都市づくり、循環型社会の構築など、多面的な課題対応が求められるようになってきているわけです。

したがって、本専攻では、従来型の単なる「ものづくり」の能力という枠組みを越え、デザイン工学研究科の教育理念でもある「総合デザイン力」に根ざした、新しい時代にふさわしい都市をデザインする、広い視野と豊かな感性を備えた人材を養成することを目標とします。

このためには、様々な問題点を高い視点からの確に捉え、解決する力が必要となりますので、専門領域を「都市プランニング」、「環境システム」、「施設デザイン」の3分野に大別し、高度な能力を持つ技術者・研究者を育てるためのバランスに配慮したカリキュラムを用意しています。

【特色】

1. 修士課程に設けた2つの履修コースによる、異なる入学制度を通した多様な学生の受け入れ。キャリア3年コースは人文・社会系学部・学科の卒業生が対象
2. 主要な3分野「都市プランニング」、「環境システム」、「施設デザイン」について基礎から応用までバランスよく履修できる科目配当
3. 都市環境デザインの概念や、国際的に活躍できる人材の育成を念頭にいた外国語を操る技術を習得するための科目を重点的に配置
4. 社会活動あるいは設計・制作といった実践的な「活動」や「表現」に生かす技術を修得するための科目として、「スタジオ科目」を各専門分野に用意

【目標】

1. 社会に通用する確かな「知識と見識」、ならびに国際社会の一員としての「コミュニケーション能力」を身につけること
2. 社会基盤などを設計・建設・整備する最先端の手法を習得し、われわれの生活を守るための防災技術ならびに自然生態系等との調和を図りながら環境を保全・再生する知恵をもつ技術者を養成すること
3. 指導教員の個別指導のもと、研究や作品制作などを着実に遂行し、論文作成や設計・制作の技術を修得することにより、研究者あるいは高度な専門技術者として自立できる人材を育成すること

[専任教員と専門分野]

出願の前に希望する研究指導教員と面談を行い、自身が関心のある研究テーマで指導を受けられるかどうか確認し、出願の承諾を得てください。

※教員は変更になる場合があることをご承知おきください。

教員名	専門分野	研究室名
今井 龍一 教授	都市交通計画, 土木情報学	社会空間情報研究室
内田 大介 教授	鋼構造学, メンテナンス工学	鋼構造研究室
尾関 智子 教授	人工知能、機械学習	機械学習研究室
酒井 久和 教授	地盤地震工学、減災工学	地震防災研究室
鈴木 善晴 教授	水文気象学、水文環境学	水文気象環境研究室
原田 大輔 准教授	水工学、河川工学	河川・流域環境研究室
福井 恒明 教授	景観工学、社会基盤構造物・空間デザイン	景観研究室
溝渕 利明 教授	コンクリート材料学、構造物診断技術	コンクリート材料研究室
山本 佳士 教授	構造工学、計算工学	構造解析研究室

※各教員の専門分野・研究業績等については以下を参照してください。

法政大学 教員紹介

<https://www.hosei.ac.jp/edn/kyoin/>



◆システムデザイン専攻

もの・システムづくりの創生デザインプロセスの総合的な研究を目指す

システムデザイン専攻は、クリエイションとテクノロジー、マネジメントの融合を目指した新しい概念の創出を目的とした工学系の大学院です。工業製品のデザインや機能など総合的なもの・システムづくりの創生プロセスを対象として、さまざまな側面から総合的にユーザビリティの向上を目指し、プロダクトデザイン、知能機械、シミュレーション、プロジェクトマネジメントなど新しい時代を切り開くための分野の研究と教育を行うことを目的としています。この専攻では、一つの専門に偏った研究者を育成するのではなく、複雑な社会に存在する諸問題を、多面的に、俯瞰的に見ることのできる技術者や研究者の育成を目指しています。こうした時代の期待に応える人材を輩出するため、修士課程にプロジェクトベースラーニング（PBL）科目など新しい教育方法を取り入れています。また、社会人としての実務経験を生かした、高度職業人としての資質をもった人材の育成にも力を入れ、昼夜開講制による社会に開かれた大学院を目指しています。

【特色】

1. クリエーションとテクノロジー、マネジメントの融合による複合横断的分野を学ぶことができます。
2. ユーザビリティ向上が求められる、複雑な社会に対応した新しい教育方法を取り入れています。
3. 各分野で研究実績があり活躍している教授陣が、実際の事例に基づく講義を行います。
4. 研究分野をこえて横断的に、各教員の研究助言を受けることが可能です。
5. 社会人のニーズに合わせた、夜間授業および土曜授業も開講しています。

【目標】

1. もの・システムづくりの創生プロセスをさまざまな面から総合的に研究することができる高度専門技術者および研究者の育成
2. 新しい問題を発見し、解決すべき課題として定式化し、解決策を提示できる能力を身につけた人材の育成と輩出
3. 昼夜および土曜開講制による社会に開かれた大学院

【専任教員と専門分野】

出願の前に希望する研究指導教員と面談を行い、自身が関心のある研究テーマで指導を受けられるかどうか確認し、出願の承諾を得てください。

※教員は変更になる場合があることをご承知おきください。

安積 伸 教授	プロダクトデザイン
岩月 正見 教授	ロボット工学、コンピュータビジョン
大西 景太 教授	ビジュアルライゼーション、モーショングラフィックス
姜 理恵 教授	アントレプレナーシップ、ベンチャー、スタートアップ
ソン ヨンア 教授	インタラクションデザイン、アフェクティブデザイン
田中 豊 教授	メカトロニクス、アクチュエータ、フルードパワー工学
土屋 雅人 教授	インタフェースデザイン
西岡 靖之 教授	知識工学、情報工学、生産工学
野々部 宏司 教授	オペレーションズ・リサーチ、組合せ最適化
山田 泰之 教授	メカニズムデザイン

※各教員の専門分野・研究業績等については以下を参照してください。

法政大学 教員紹介

<https://www.hosei.ac.jp/edn/kyoin/>



入試について

本研究科では以下の入学試験を実施している。

入試名	入試を実施する専攻
7月入試	建築学専攻、都市環境デザイン工学専攻、システムデザイン専攻
10月入試	システムデザイン専攻
2月入試	建築学専攻、都市環境デザイン工学専攻、システムデザイン専攻

※各入試で実施する入試種別が異なるため、詳細のスケジュールは P12「◆2026 年度デザイン工学研究科入学試験日程」を参照のこと。

◆入学制度

近年、我が国の科学技術の進歩は目ざましく、既に欧米先進国を凌ぐ勢いである。現代社会では、創造的な技術開発能力に富み、技術革新を積極的に追求する高度な専門技術者を必要としている。本学デザイン工学研究科建築学専攻では、このような社会的要請に応えるため、また開かれた大学院を目指して、下記の 9 つの入学試験制度を設けている。

(1)一般入学制度・・・修士課程総合 2 年コース・博士後期課程

本制度は、学内・他大学からの進学希望者を広く受け入れるため、筆記試験と口述（面接）試験の結果を総合的に評価して入学を許可する制度である。

建築の修士のみ・・・①専門科目重視型、②作品評価型の入試方式を設けている。受験生は①・②どちらかを受験する。

(2)学内推薦入学制度・・・修士課程総合 2 年コース・博士後期課程（建築・都市）

本制度は、本学学部生で修士課程への進学希望者、および本大学院修士課程学生で博士後期課程への進学希望者で、事前に学内推薦入学試験受験許可を得た者に対して、筆記試験を免除し口述（面接）試験による評価に重点をおき、入学を許可する制度である。

(3)学内特別推薦制度・・・修士課程総合 2 年コース

本制度は、本学学部生の成績優秀な学生で修士課程への進学希望者で、事前に学内特別推薦入学試験受験許可を得た者に対して、筆記試験、口述（面接）試験を免除し、書類選考に重点をおき、入学を許可する制度である。

(4)一般推薦入学制度（建築・都市）・・・修士課程総合 2 年コース・博士後期課程

本制度は、他大学からの優秀な人材を受け入れるため、筆記試験を免除し口述（面接）試験と学業成績および推薦書を総合的に判断して入学を許可する制度である。

(5)自己推薦入学制度（システムデザイン）・・・修士課程総合 2 年コース・博士後期課程

本制度はデザイン系、エンジニアリング系並びにマネジメント系など多彩な人材を募集しようとの考えから自己推薦入試方式を設け、自分の能力、自分のやりたい研究を自ら明確に表現できる人材を審査し、受け入れる制度である。

(6)社会人特別入学制度・・・修士課程総合 2 年コース・博士後期課程

本制度は、企業、官公庁、教育機関等の実社会で体得した研究能力、さらに実務的経験の評価に重点をおき、社会人として 1 年以上の職務歴を有する者を正規大学院生として受け入れる制度である。

(7)選抜1年コース（建築）・・・修士課程のみ

本制度は、建築学専攻の修士課程において、4年制の建築系学部・学科の在学者とその卒業生である社会人の中から特に優れた成績または業績を有すると認められる者を受け入れる制度である。

本制度で募集する大学院生は、修士課程（標準修業年限は2年だが、1年での早期修了を目指すコース）のみである。

なお募集の詳細は、別冊の当該年度「法政大学大学院デザイン工学研究科建築学専攻修士課程選抜1年コース・キャリア3年コース、都市環境デザイン工学専攻修士課程キャリア3年コース募集要項」で確認すること。

(8)キャリア3年コース（建築・都市）・・・修士課程のみ

本制度は、建築学専攻・都市環境デザイン工学専攻の修士課程において、建築系ではない学部・学科の卒業生またはそれに相当すると認められる者を受け入れる制度である。

建築の修士のみ・・・①小論文重視型、②作品評価型の入試方式を設けている。受験生は①・②どちらかを受験する。

本制度で募集する大学院生は、修士課程（標準修業年限3年）のみである。

なお募集の詳細は、別冊当該年度「法政大学大学院デザイン工学研究科建築学専攻修士課程選抜1年コース・キャリア3年コース、都市環境デザイン工学専攻修士課程キャリア3年コース募集要項」で確認すること。

(9)外国人学生特別入学制度・・・修士課程総合2年コース・博士後期課程

本制度は、外国から本学へ留学を希望する者に対して、書類審査、専門科目における能力（修士課程のみ）と研究計画に関する評価に重点をおき、正規大学院生として受け入れる制度である。

なお募集の詳細は、別途当該年度「法政大学大学院 デザイン工学研究科外国人学生特別入学制度による入試要項」で確認すること。

「研修生」との併願について

修士課程の志願者で、不合格となった場合に研修生入試への出願を希望する者は、事前に希望指導教員に確認のうえ、入学志願票に明記すること。

研修生の詳細については、「法政大学大学院デザイン工学研究科【研修生】入試要項」を確認すること（7月および10月入試の志願者は対象外です）。

◆入学定員

	修士課程（博士前期課程）		博士後期課程	
専攻および 入学定員	建築学専攻	55 名	建築学専攻	2 名
	都市環境デザイン工学専攻	25 名	都市環境デザイン工学専攻	2 名
	システムデザイン専攻	30 名	システムデザイン専攻	3 名

※上記は全選抜方式を含む、デザイン工学研究科全体の入学定員である。

◆受験資格

<修士課程>

●一般・自己推薦・学内推薦・学内特別推薦

以下の1～9のいずれかに該当する者

1	日本の大学を卒業した者、又は2026年3月末までに日本の大学を卒業見込みの者
2	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者、又は2026年3月末までに同機構より学士の学位を授与される見込みの者
3	外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、又は2026年3月末までに修了見込みの者
4	外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、又は2026年3月末までに修了見込みの者
5	我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、又は2026年3月末までに修了見込みの者
6	外国の大学、その他の外国の学校において、修業年限が3年以上である過程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者、又は2026年3月末までに学士の学位に相当する学位を授与される見込みの者
7	専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者（2026年3月末までに修了見込みの者も含む）
8	文部科学大臣の指定した者※但し8により受験しようとする者は、出願締切日1か月前までにデザイン工学研究科担当へ問い合わせてください。
9	本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者 ※但し9により受験しようとする者は、出願前に【出願資格審査】の手続きが必要です。出願締切日1か月前までに、指導希望教員と面談を行い、出願の承諾を得た上でデザイン工学研究科担当へ問い合わせてください。

◎「学内推薦入試」および「学内特別推薦入試」の志願者は事前に「受験希望者登録票」の提出が必要となる（システムデザイン専攻の学内推薦は除く）。詳細はWeb 掲示板やデザイン工学研究科 HP で確認のこと。

●一般推薦

以下の1～4を全て満たす者

1	2026年3月大学卒業見込みの者
2	学部教育で志望の専攻と関連系統の専門教育を受けている者
3	学業成績が優秀な者
4	学長又は学部長、及び指導教授が責任を持って推薦ができ、合格した場合には必ず入学を確約できる者

●社会人特別

出願時に 1 年以上の職務歴を有し、以下の 1～3 のいずれかに該当する者

1	大学を卒業した者
2	文部科学大臣の指定した者※但し 2 により受験しようとする者は、出願締切日 1 か月前までにデザイン工学研究科担当へ問い合わせてください。
3	本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22 歳に達した者 ※但し 3 により受験しようとする者は、出願前に【出願資格審査】の手続きが必要です。 出願締切日 1 か月前までに指導希望教員と面談を行い、出願の承諾を得た上でデザイン工学研究科担当へ問い合わせてください。

＜博士後期課程＞

●一般・自己推薦・学内推薦

以下の 1～6 のいずれかに該当する者

1	修士の学位又は専門職学位を有する者、又は 2026 年 3 月末までに学位を授与される見込みの者
2	外国における大学院において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を得た者、又は 2026 年 3 月末までに修士の学位又は専門職学位に相当する学位を得る見込みの者
3	外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を得た者、又は 2026 年 3 月末までに修士の学位又は専門職学位に相当する学位を得る見込みの者
4	文部科学大臣の指定した者※但し 4 により受験しようとする者は、出願締切日 1 か月前までにデザイン工学研究科担当へ問い合わせてください。
5	本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24 歳に達した者 ※但し 5 により受験しようとする者は、出願前に【出願資格審査】の手続きが必要です。 出願締切日 1 か月前までに指導希望教員と面談を行い、出願の承諾を得た上でデザイン工学研究科担当へ問い合わせてください。
6	国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者

◎「学内推薦入試」の志願者は事前に「受験希望者登録票」の提出が必要となる（システムデザイン専攻の学内推薦は除く）。詳細は Web 掲示板やデザイン工学研究科 HP で確認のこと。

●一般推薦

以下の 1～4 を全て満たす者

1	2026 年 3 月修士課程修了見込みの者
2	修士課程で志望の専攻と関連系統の専門教育を受けている者
3	学業成績が優秀な者
4	学長又は研究科長、及び指導教授が責任を持って推薦ができ、合格した場合、必ず入学を確約できる者

●社会人特別

出願時に 1 年以上の職務歴を有し、以下の 1 ～ 5 のいずれかに該当する者

1	2026 年 3 月末までに修士課程修了見込みの者
2	修士の学位を有する者
3	外国における大学院において、修士に相当する学位を得た者
4	大学を卒業し、または外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
5	本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24 歳に達した者 ※但し 5 により受験しようとする者は、出願前に【出願資格審査】の手続きが必要です。 出願締切日 1 か月前までに指導希望教員と面談を行い、出願の承諾を得た上でデザイン工学研究科担当へ問い合せてください。

◆試験会場

法政大学市ヶ谷田町校舎：東京都新宿区市谷田町 2-33

（JR 市ヶ谷駅下車 徒歩約 10 分、東京メトロ有楽町線・南北線市ヶ谷駅下車 徒歩約 5 分）

<https://www.hosei.ac.jp/ichigaya/access/>



◎注意事項

- ・受理した出願書類・検定料は返還しない。
- ・受験者は、試験開始 15 分前までに必ず試験会場（集合場所）に入室すること。
- ・受験者が遅刻した場合、試験開始 30 分以後の入室は認めない。
- ・受験会場での携帯電話の使用は認めない。

2026年度デザイン工学研究科入試日程

実施月	専攻	課程	種別	受験許可申請期間 ※2・3 第1次選考出願期間 ※5	受験許可者発表 ※2・3 第1次選考結果郵送 ※5	出願期間	筆記試験	面接試験	合格発表	入学手続期間
7月	建築	修士	一般 ※1	2025年5月9日(金)～14日(水)	2025年5月28日(水)	2025年6月2日(月) ～9日(月)	2025年7月5日(土)	2025年7月6日(日)	2025年7月16日(水)	2025年11月17日(月) ～12月5日(金)
			学内推薦 ※2	2025年3月3日(月)～17日(月)	2025年3月28日(金)					
			学内特別推薦 ※3							
			一般推薦 ※4							
	都市	博士	学内推薦 ※2	2025年5月9日(金)～14日(水)	2025年5月28日(水)		2025年7月5日(土)	2025年7月6日(日)		
			学内特別推薦 ※3	2025年3月3日(月)～17日(月)	2025年3月28日(金)					
			一般推薦 ※4							
			学内推薦 ※2	2025年5月9日(金)～14日(水)	2025年5月28日(水)		2025年7月5日(土)	2025年7月5日(土)		
	SD	修士	学内推薦 ※2	★SDはGPA2.5以上が出願可	2025年3月28日(金)			2025年7月6日(日)		
			学内特別推薦 ※3	2025年3月3日(月)～17日(月)						
10月	SD	修士	自己推薦 ※4			2025年9月19日(金) ～26日(金)	2025年10月11日(土)	2025年10月11日(土)	2025年10月21日(火)	2025年11月17日(月) ～12月5日(金)
			自己推薦 ※4							
			自己推薦 ※4							
			自己推薦 ※4							
	建築	修士	一般 ※1	2025年12月1日(月)～5日(金)	2026年1月7日(水)～8日(木)	2025年10月11日(土)	2025年10月11日(土)	2026年2月19日(木)		
			学内推薦 ※2							
			学内特別推薦 ※3							
			一般推薦 ※4							
2月	都市	博士	学内推薦 ※2	2025年11月13日(木)～12月12日(金)	2026年1月8日(木)	2026年1月9日(金) ～16日(金)	2026年2月18日(水)	2026年2月18日(水)	2026年2月25日(水) ～3月4日(水)	
			学内特別推薦 ※3	2025年12月1日(月)～5日(金)	2026年1月7日(水)～8日(木)					
			一般推薦 ※4							
			学内推薦 ※2	2025年11月13日(木)～12月12日(金)	2026年1月8日(木)		2026年2月18日(水)	2026年2月18日(水)		
	SD	修士	学内推薦 ※2	2025年12月1日(月)～5日(金)	2026年1月7日(水)～8日(木)	2026年2月18日(水)	2026年2月18日(水)			
			学内特別推薦 ※3							
			一般推薦 ※4							
			学内推薦 ※2	2025年11月13日(木)～12月12日(金)	2026年1月8日(木)	2026年2月18日(水)	2026年2月18日(水)			

※1 建築修士課程＜一般＞＜キヤリ73年＞の作品評価型は、筆記試験日に「即日設計・「ポートフォリオ」審査を実施する。
 ※2 学内推薦(建築・都市)は、受験許可申請後、受験許可者も出願が必要。SDは掲示のみ(掲示にてGPA2.5以上と書かれているため受験許可申請は行わない。)
 ※3 学内特別推薦は、受験許可申請後、受験許可者も出願が必要。試験は面接試験日に書類選考のみ。
 ※4 選抜1年コースは書類選考(合格発表日:2025/6/19)が必要。
 ※5 外国人特別入試は事前の第1次選考が必要。

◆試験について

◎試験内容

＜修士課程＞

専攻	入試種別	筆記試験	面接試験
建築	一般（専門科目重視型）	○	○
	一般（作品評価型）	○	○
	学内推薦	—	○
	学内特別推薦	書類選考のみ	
	一般推薦	—	○
都市	社会人特別	—	○
	一般	○	○
	学内推薦	—	○
	学内特別推薦	書類選考のみ	
	一般推薦	—	○
SD	社会人特別	—	○
	一般	○	○
	学内推薦	—	○
	学内特別推薦	書類選考のみ	
	自己推薦	○	○
	社会人特別	—	○

＜博士後期課程＞

専攻	入試種別	筆記試験	面接試験
建築	一般	○	○
	学内推薦	—	○
	一般推薦	—	○
	社会人特別	—	○
都市	一般	○	○
	学内推薦	—	○
	一般推薦	—	○
	社会人特別	—	○
SD	一般	○	○
	自己推薦	○	○
	社会人特別	—	○

◎出題範囲

(1) 筆記試験

＜修士課程＞

専攻	入試種別	出題範囲・内容	時間
建築	一般（専門科目重視型）	計画、歴史、構造、環境、構法の基礎的分野から出題する。5科目すべてに解答すること。	9:30~12:30
	一般（作品評価型）	①計画、歴史、構造、環境、構法の基礎的分野から出題する。5科目すべてに解答すること。 ②即日設計・ポートフォリオ審査※	①9:30~12:30 ②13:30~18:30
都市	一般	構造力学、水工学、地盤工学、建設材料学、土木計画学、都市計画の基礎的分野から出題する。6科目中、得点の高い3科目で判定する。	9:30~12:30
SD	一般	以下の①・②ともに解答する。 ①出願時に専門3分野（クリエーション、テクノロジー、マネジメント）から1分野を選択する。 ②共通問題	9:30~11:30
	自己推薦	小論文	9:30~11:00

<博士後期課程>

専攻	入試種別	出題範囲・内容	時間
建築	一般	計画、歴史、構造、環境、構法の 5 科目から、専攻しようとする 1 科目を選択して解答すること。	9:30~12:30
都市	一般	構造力学、水工学、地盤工学、建設材料学、土木計画学、都市計画の 6 科目から、専攻しようとする分野を含めて 2 科目を選択して解答すること。	9:30~12:30
SD	一般	以下の①・②ともに解答する。 ①出願時に専門 3 分野（クリエーション、テクノロジー、マネジメント）から 1 分野を選択する。 ②共通問題	9:30~11:30
	自己推薦	小論文	9:30~11:00

※即日設計・ポートフォリオ審査について

■即日設計

- ・用紙：大学所定の A2 用紙 2 枚を配布（エスキス用、提出用）
- ・持ち込み可：筆記用具、定規、製図板、方眼紙、メンディングテープ。テンプレートは、正円・正方形。
- ・持ち込み不可：参考書、コンピュータ類。テンプレートは、だ円や家具など（上記以外の持ち込みは、事前に問い合わせること）。
- ・その他：長時間に及ぶため、飲み物・軽食は各自持参すること。

■ポートフォリオ審査（提出物を審査する。受験生は出席不要。）

- ・提出作品数：大学在学期間のもの 3 点以上（体裁、サイズは自由）
- ・提出日時・場所：筆記試験日の試験開始前（8：30～9：15）に、デザイン工学研究科窓口へ提出
- ・返却：審査後、口述試験日集合時に返却予定
- ・自作証明書：大学の担当教員により本人自作であることを証明した本学指定書式を、出願時に提出
- ・注意事項：氏名などの個人が特定できる情報は記入しない。もし記入されている場合は、事前に付箋等を利用して隠すこと。

■配点比率

	即日設計	ポートフォリオ審査	専門科目
専門科目重視型	—	—	100%
作品評価型	25%	25%	50%

(2)面接試験

<修士課程>

専攻	入試種別	内容	時間
建築	面接試験を実施する全入試	口述試験	10:00～
都市	面接試験を実施する全入試	口述試験	14:00～
SD	自己推薦	プレゼンテーション及び試問(各 10 分程度) テーマ：「研究実績および業績、研究計画」	12:30～
	一般	口述試験	12:30～
	学内推薦	口述試験	12:30～
	社会人特別	プレゼンテーション及び試問(各 10 分程度)※ テーマ：「研究実績および業績、研究計画」	12:30～

<博士後期課程>

専攻	入試種別	内容	時間
建築	面接試験を実施する 全入試	口述試験	10:00～
都市	面接試験を実施する 全入試	口述試験	14:00～
SD	自己推薦	プレゼンテーション及び試問（各 10 分程度）※ テーマ：「研究実績および業績、研究計画」	12:30～
	一般	口述試験	12:30～
	社会人特別	プレゼンテーション及び試問（各 10 分程度）※ テーマ：「研究実績および業績、研究計画」	12:30～

※プレゼンテーション及び試問について

プレゼンテーション実施にあたり、プロジェクターを設置しておりますので、パワーポイント等の資料をご使用いただけます。使用する場合は、ご自身で PC をご用意ください。

◆出願方法

※提出書類は、必ず希望指導教員に受験の了解を得てから提出すること。

（１）入学検定料 35,000 円（学内特別推薦のみ：20,000 円）＊支払期間は出願期間に準ずる。

（２）コンビニエンスストアまたはクレジットカードで検定料を納入すること。

※支払い方法は次ページを参照

※銀行での振込を希望する場合は、提出締切日の 2 週間前までにデザイン工学研究科担当へ相談すること。

（３）出願にはオンライン出願システム「The Admission Office（以降、「出願システム」と表記）」を通して書類提出・手続き等をする必要があります。別冊子「デザイン工学研究科入試要項 出願・受験にあたって＜全入学制度共通＞」をお読みください。

（４）受験票は試験日の 1 週間前に出願システムで発行が可能となります（郵送はいたしません）。

※出願書類および検定料は返還しない。

◆受験上および修学上の配慮が必要な方へ

法政大学では、障がいや疾病等の理由で配慮を必要とする方に、合理的配慮を提供するよう努めています。法政大学大学院に入学を志願する方で障がい等があり、受験上および修学上の配慮を必要とする場合は、出願前に以下 HP の案内をご確認のうえ、申請してください。

<https://www.hosei.ac.jp/gs/jukensei/hairyo/>

本学が必要と判断した場合には、受験上・修学上の配慮について、事前に志願者と面談等を行います。受験上および修学上の配慮について確認するためのものであり、合否判定とは一切関係ありません。必ずしも全てのご希望に添えるとは限りませんのであらかじめご承知おきください。また、修学上の配慮が必要な場合は「受験上の配慮申請書」の「修学上の配慮希望事項」欄に記入してください。ただし、修学上における措置を保証するものではありません。

本学への出願は、面談等の結果、認められた受験上の配慮を志願者が了承された後になります。

法政大学大学院 コンビニエンスストアまたはクレジットカードでの入学検定料支払方法

1 Webで事前申込み

本学HP
からも
アクセス
できます！



<https://e-shiharai.net/>



画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。

★Webから以下のように情報の入力が必要です。

1. トップページ —— お支払先（大学院）を選択してください。
2. 学 校 選 択 —— 「法政大学大学院」を選択してください。
3. 学校案内&個人情報承諾 —— 注意事項等を確認のうえ、個人情報の取扱いについて同意してください。
4. カテゴリ選択 —— 第1～第4選択を選び、「次へ」をクリック。
5. 基本情報入力 —— 出願者の基本情報を入力してください。支払先を選択し、「次へ」をクリック。クレジットカードを選択した場合は、続けてカード番号等を入力してください。
6. お支払い内容確認 —— 全入力内容が表示されますので、よろしければ「申込みを確定する」をクリック。
7. 確 定 —— 「確定」画面に通知された【番号】と【お支払期間】を確認し、選択したコンビニでお支払いください。クレジットカードを選択した場合は、申込確定と同時に支払いも完了です。

※カード決済完了後の修正・取消はできません。申込みを確定する前に、内容をよくご確認ください。
※番号取得後に入力ミスに気づいた場合はその番号では支払いを行わず、もう一度入力直して、新たな番号を取得してお支払いください。支払い期限内に代金を支払わなかった入力情報は、自動的にキャンセルされます。

※確定画面に表示される番号をメモしてください。→

2 お支払い

オンライン決済



※お支払いされるカードの名義人は、受験生本人でなくても構いません。但し、「基本情報入力」画面では、必ず受験生本人の情報を入力してください。

Web申込みの際に、
支払方法で
「クレジットカード」を選択

カード情報を入力

全入力内容が表示されますので、
正しければ「確定」を押す

お支払い完了です。
下記の手順に従って、
「収納証明書」を印刷してください。

ネット受付店頭支払い



【払込票番号（13ケタ）】

●レジにて
「インターネット支払い」と
店員に伝え、印刷した【払込票】
を渡すか、【払込票番号】を
伝えてお支払いください。

マルチコピー機は使用しません

お支払い後、必ず「入学検定料・
選考料取扱明細書」（チケット）
を受け取ってください。

- 入学検定料はATMでは振り込みできません。必ずレジでお支払いください。
- 店頭端末機の画面デザイン等は、予告なく変更される場合があります。



【お客様番号（11ケタ）】
【確認番号（4ケタ）】



各種サービスメニュー
各種代金・インターネット受付
（紫のボタン）
各種代金お支払い
マルチペイメントサービス
【お客様番号】【確認番号】
を入力

店頭端末機より出力される「申込券」（受付票）を持って、30分以内にレジでお支払いください。

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料 取扱明細書」を受け取ってください。



【お客様番号（11ケタ）】
【確認番号（4ケタ）】

マルチコピー機へ

代金支払い

番号入力画面に進む

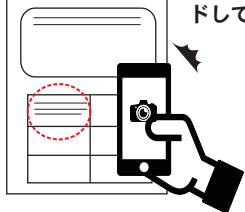
【お客様番号】【確認番号】
を入力

3 出 願

オンライン決済の場合

支払完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、
受付完了時に通知された【受付番号】と【生年月日】を入力して
「収納証明書」を表示。「収納証明書」部分の写真を撮影し、
画像ファイルを出願システムからアップロードしてください。

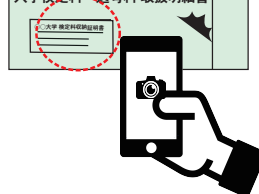
入学検定料・選考料 取扱明細書



ネット受付店頭支払いの場合

「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分の写真を
撮影し、画像ファイルを出願システムからアップロードしてください。

入学検定料・選考料 取扱明細書



事務
手数料

検定料の他に事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。 ※事務手数料は変更になる場合があります。

- 出願期間を入試要項等で確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日の「Webサイトでの申込み」は23:00まで、店頭端末機の操作は23:30までです。クレジットカードの場合、Webサイトでのお申込みと同時に支払いが完了します。23:00までにお手続きしてください。
- 「検定料払込」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭ではお答えできません。詳しくはWebサイトをご確認ください。
- 一度お支払いされた検定料は返金できません。
- 「申込内容照会」から収納証明書が印刷できるのは、クレジットカードでお支払いされた場合に限りです。
- カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。
- 取扱いコンビニ、支払方法は変更になる場合があります。変更された場合は、Webサイトにてご案内いたします。

◆提出書類（修士課程・博士課程共通）

様式 番号	各目 用意	提出書類	一般			学内推薦			学内特別推薦			(建・都)一般推薦 (SD) 自己推薦			社会人特別		
			建築	都市	SD	建築	都市	SD	建築	都市	SD	建築	都市	SD	建築	都市	SD
1		推薦書										○	○	○	○※1	○※1	○※1
2		研究計画書			○			○			○			○	○	○	○
3		業績報告書													○	○	○
4		ポートフォリオ自作証明書 (注)「作品評価型」での志願者のみ	○														
5	●	成績・卒業/修了（見込）証明書 ※2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	●	英語外部試験のスコア ※3	○	○	○												
(7は外国人のみ提出)																	
7	●	在留資格記載の住民票	○	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○
(8は博士後期課程のみ提出)																	
8	●	修士論文および修士論文概要	○	○	○	○	○							○	○	○	○

(注)「ポートフォリオ自作証明書」は建築学修士課程一般入試の作品評価型での志願者のみ提出が必要です（専門科目重視型の志願者は提出不要）。詳細は P14 を参照ください。

※1 所属している機関などの長によるもの、出身大学での指導教員によるもの、自己推薦によるもの、のいずれか 1 通を提出してください。

※2 「成績・卒業/修了（見込）証明書」1 通でも可

- ・法政大学出身者は「成績・卒業/修了（見込）証明書」1 通を提出すること
- ・学部 3 年次（博士後期課程志願者は修士 1 年次）までの成績が記載されたもの。厳封不要。

※3 TOEIC®または TOEFL®の成績通知書

大学入学後に受験した TOEIC®、TOEIC® IP、TOEFL® PBT、TOEFL® iBT、TOEFL iBT Paper Edition のスコアカード。TOEIC® IP については、本学デザイン工学部が実施したものに限る。これらの英語外部試験のスコアは合否判定に使用されます。

◆合否判定

合否判定は、アドミッション・ポリシーに基づき、デザイン工学研究科教授会が筆記試験・面接試験の結果および出願書類を総合的に評価して行います。

※入試種別によって、筆記試験の有無および筆記試験・面接試験の内容は異なります。

※学内特別推薦入学試験については、書類選考により合否判定を行います。

◆合格発表

出願システムにて行い、合格発表日の 10 時に公開します。

なお、合否の問い合わせには応じません。

◆入学手続

◎入学手続に関しては、合格発表時に、別途ご案内いたします。

◎入学手続期間

7 月・10 月入試合格者 2025 年 11 月 17 日(月)～12 月 5 日(金)

2 月入試合格者 2026 年 2 月 25 日(水)～ 3 月 4 日(水)

* 期間厳守（銀行振込：締切日当日の銀行収納印有効、書類郵送：締切日当日の消印有効）

◎入学手続きに用意するもの

- ① 入学手続き時の納入金
- ② 住民票（市区役所・町村役場で発行される証明書本書） 1 通
※外国籍者は在留資格が記載されていること。
- ③ 写真（3 ヶ月以内に撮影したもの・縦 3cm×横 3cm） 1 枚
※写真は本人確認のために使用するため加工しないこと。

◆学費

半期ごと（春学期（4 月末）・秋学期（9 月末））に分けて納入する。

学費 (2026 年度予定)	修士課程		博士後期課程	
	半期分	年間	半期分	年間
授業料	385,000 円	770,000 円	300,000 円	600,000 円
教育充実費	50,000 円	100,000 円	50,000 円	100,000 円
実験実習費	50,000 円	100,000 円	50,000 円	100,000 円
計	485,000 円	970,000 円	400,000 円	800,000 円

入学金 (修士・博士共通)	自校	—
	他校	200,000 円

注意

(1) 入学金は入学手続き時に当年度半期（春学期）分と一緒に納入する。したがって、入学手続き時の納入金額は以下のとおりである。

	修士課程		博士後期課程	
	自校	他校	自校	他校
入学手続き時納入金	485,000 円	685,000 円	400,000 円	600,000 円

(2) 自校とは、本学の卒業生または本学の大学院修了者を指し、他校とはその他の者を指す。また、教育充実費及び実験実習費は 2 年次以降も必要である。

(3) 上記金額は予定額であり、変更となる可能性がある。

＜入学手続き後の学費等の返還について＞

入学手続きを完了した後（入学時納入金を全額納入した後）に、やむを得ない理由により入学辞退を希望し、2026 年 3 月 31 日までに本大学院が定める手続きにより入学辞退の届け出をした者には、入学金を除く授業料その他の納入金を返還する。詳細は、合格者に送付される「入学手続書類」を参照のこと。

＜参考：奨学金について＞

① 日本学生支援機構大学院奨学金

毎年その年度の枠内で選考の上採用している。

貸与月額（無利子）修士課程 50,000 円または 88,000 円（予定）

博士後期課程 80,000 円または 122,000 円（予定）

上記無利子の奨学金のほか、有利子のものもある。

② 法政大学 100 周年記念大学院修士課程奨学金

給付額は年額 200,000 円（予定）

※詳細およびその他の奨学金については、入学後に大学院 HP を参照してください。

<https://www.hosei.ac.jp/gs/gakuhi/gakuhi-shogakukin/shogakukin/>

◆その他

＜修了所要単位数と在学年限＞

① 修士課程（博士前期課程）

修士の学位を得ようとする者は、所要科目を 30 単位以上修得し、修士論文の審査並びに最終試験に合格しなければならない。修業年限は 2 カ年とし、4 カ年を超えることはできない。但し、優れた業績を上げた者については 1 年以上で足りるものとする。

② 博士後期課程

博士の学位を得ようとする者は、所要科目を履修し、博士論文の審査及び最終試験に合格しなければならない。修業年限は 3 カ年とし、6 カ年を超えることはできない。但し、優れた業績を上げた者で、修士課程に 2 年以上在学した者については 1 年以上、修士課程を 1 年で修了した者は 2 年以上で足りるものとする。

＜大学院特別学生＞ ※詳細はデザイン工学研究科担当に問い合わせること。

本大学院には、学位の取得を目的としない特別学生の制度がある。その種別と位置付けは次のとおりである。

- ① 研究員：現役の研究者もしくは、それに準ずる者で、大学・研究所その他の機関から特定の主題を持って研修委託された者
- ② 研究生：修士の学位を有する者で、本大学院専任教員の研究指導を受けることを目的とする者
- ③ 委託研修生：公共団体または、その他の機関より本大学院に特定の授業科目について修学を委託された者
- ④ 科目等履修生：大学院の入学資格を有し、本大学院授業科目を履修し単位修得を目的とする者
- ⑤ 研修生：大学院の入学資格を有し、特定の主題をもって本大学院専任教員の研究指導を受けることを目的とする者

＜安全保障輸出管理＞

法政大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「法政大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受け入れに際し、厳格な審査を実施しています。規程事項に該当する場合は、希望する教育が受けられないケースや研究ができないケースがありますので、注意してください。

＜授業科目、シラバス、担当教員の専門領域等＞

以下の大学 HP を参照のこと

受験案内 <https://www.hosei.ac.jp/gs/jukensei/index.html>

シラバス <https://syllabus.hosei.ac.jp/web/show.php>

学術研究データベース <https://kenkyu-web.hosei.ac.jp/hosei/>

＜問い合わせ先＞

法政大学大学院デザイン工学研究科

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町 2-33 E-Mail : jsd@hosei.ac.jp TEL : 03-5228-1347